

- 2014/03/30 未完議会で重要審議見切り発車
- 2014/03/27 英語帝国主義にひれ伏す公立学校
- 2014/03/24 チベット難民に警告, ゴータム内相
- 2014/03/22 韓国取材班, 罰金支払い釈放
- 2014/03/21 軍施設撮影で韓国人逮捕
- 2014/03/15 ガソリン値上げ, 1リットル 140 ルピー
- 2014/03/13 牛乳値上げ, 1リットル 68 ルピー
- 2014/03/10 京都の米軍基地(33): ヤラセ環境影響調査と市長の無責任
- 2014/03/09 ネパールの職種別給与と経済成長率・インフレ率・預金金利
- 2014/03/07 青蔵鉄道: シガツェ10月開通, ネパール延伸へ
- 2014/03/06 米のネパール援助削減と中国の援助戦略
- 2014/03/05 制憲議会選挙 2013(38): 先住民族協会, 障害者協会等の議席要求
- 2014/03/03 韓国, ネパール人労働者 5700 人受け入れ

未完議会で重要審議見切り発車

第2次制憲議会は、まだ内閣指名26議席が決まっていない。各種集団が包摂参加を要求し圧力をかけているが、主要政党は、談合により、とりあえず下記の配分を決めてしまったらしい。第4党の国民民主党(RPP)は排除されている。

- ・ कांग्रेस党(NC)——— 9
- ・ 統一共産党(OPN-UML)- 7
- ・ マオイスト(UCPN-M)—— 5
- ・ その他————— 5

しかも、制憲議会は厳密にはまだ未成立にもかかわらず、主要3党は、見切り発車で重要事項を次々と決定している。

- ・ 第1次制憲議会の審議結果の継承
- ・ 憲法起草委員会(68議員)など、各種委員会の構成・発足
- ・ 高等政治委員会(HLPC)の再開



■LGBT 指名議席を要求している BLue Diamond Society

谷川昌幸(C)

2014/03/30 at 11:31 カテゴリー: [議会](#), [憲法](#) タグ: [LGBT](#), [内閣指名議席](#), [制憲議会](#), [包摂参加](#)

後進国への後退とチャンネル広告

シャネルが、朝日新聞朝刊（3月29日）に、全面広告を6頁(!!)も出している。日本人を見くぶり、自然や人類をバカにした、許されざる所業だ。

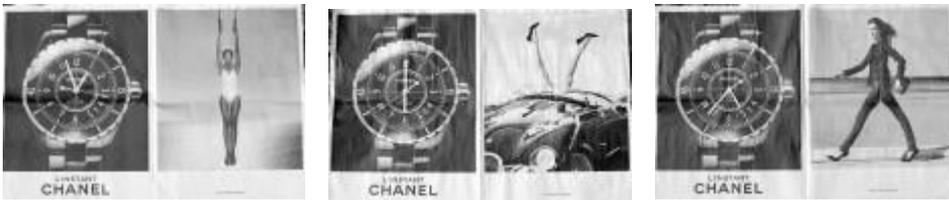
後進国が「途上国」と改称される以前の後進国にいて真っ先に驚いたのが、高級ブランド店の超豪華仕様。後進国住民の大半はその日暮らしさえまならない惨状なのに、ごくわずかの特権階級相手に、目玉の飛び出そうな高価な贅沢品を売っていた。最近はめでたく「途上国」に発展したので、以前ほど酷くはなくなったが、それでも庶民生活と高級ブランド店との落差は大きい。

高級ブランド店は、少数の特権階級に寄生し、格差拡大とともに厚かましくも派手になり、格差を商品化し、繁栄する。

シャネルが高級紙に6頁もの全面広告を出したのは、日本が後進国へと後退し、宿主が生まれ生長し始めたからだ。特権階級は、むろん大多数の庶民を搾取して太っていく。日本は、搾取が構造化された後進国型階級社会に転落し始めたのだ。マルクス万歳!

そもそも6頁全面広告は、日本人見くぶり以前に、自然浪費だ。この空疎な広告のため、山や森の木が何本切り倒されたのか？ 石油が何ガロン燃やされたのか？ 川の水や地下水が何万 KL 汚染されたのか？ 反自然的・反人類的と断罪せざるをえない。

こんな反倫理的・反社会的広告を掲載した朝日も、むろん同罪だ。高級紙なら、貧すれども鈍せず、高級紙としての品格を堅持すべきだろう。



[参照] [シャネルの新聞広告](#)

谷川昌幸(C)

2014/03/29 at 11:34 カテゴリー: [社会](#), [経済](#), [文化](#) タグ: [シャネル](#), [ブランド](#), [途上国](#), [階級社会](#), [後進国](#), [格差](#), [構造的暴力](#)

英語帝国主義にひれ伏す公立学校

先住民族の尊厳や母語教育の権利を高らかに宣言しているネパールだが、建て前と本音は、教育においても別らしい。私立学校に続き公立学校も、母語どころかネパール語さえ放棄し、続々と英語帝国主義の軍門に降りつつある。そうした学校では、生徒は英語で挨拶し、歌い、勉強する。家でも英語で話す。

「英語が公立学校を魅了している」(Republica, 25 Mar)によれば、チトワンのある公立小中学校では、全教科を英語で教え始めた。

「3年生クラス成績3番のサンジタは、良い本を読むには英語学習は必須だと確信している。友人のカマルも同じで、英語が分かれば多くのことを学ぶことができるし、旅行者とも話すことができる、と考えている。『姉は家でも英語で話してくれるので、とても助かる』という。」

「政府は、ネパール語記述の教科書を英訳し始めた。学校は、これらの英訳された教科書を使い、授業をしている。」

ネパールは、教育でも、日本のはるか先を行っている。ネパールの教育は日本のお手本(格差大だが)。文科省はネパールに視察団を送り、謙虚に教えを請い、最先端の英語教育を学ぶべきだろう。

[参照] [水村美苗『日本語が亡びるとき』](#)



谷川昌幸(C)

2014/03/27 at 16:21 カテゴリー: [教育](#), [文化](#) タグ: [英語教育](#), [公用語](#), [公教育](#), [母語](#), [水村美苗](#)

チベット難民に警告, ゴータム内相

ゴータム副首相兼内相は3月22日(土)、「全国人権基金(HURFON)」年次大会において、チベット難民に対し、反中国活動をしないよう強く警告した(Nepalnews, 22 Mar)。

この3月10日は「チベット蜂起」55周年記念日であった。ネパール警察は、約900人の制服・私服警官を動員し、ボダナートなど重点地区を中心に警戒してきた。焼身抗議に備え、毛布と消化器を準備しているという。

それでも、3月10日には、小規模ながら、「自由チベット」デモが行われた。拘束されたのは、中国大使館付近5人、スワヤンブー付近4人、ポカラ1人など、10数人。チベット難民の抗議活動は、例年よりも少なかった(Republica & Ekantipur, 10 Mar)。



■中ネ航空協定改定：カトマンズ2014年2月24日(中国大使館HP)

谷川昌幸(C)

韓国取材班, 罰金支払い釈放

パシュパテ寺院地区を撮影し逮捕されていた韓国 TV 取材班の韓国人 4 人とネパール人 1 人が, 3 月 21 日, 罰金 1 人 9500 ルピーを支払い, 釈放された。

韓国 TV 取材班は, リモコン小型ヘリを使い, ポカラやビルガンジを空撮し, 最後にパシュパテ寺院の空撮をしたらしい。容疑は, 公安法(Public Offense Act)違反であり, 2 年以下の禁固または 1 万ルピー以下の罰金。

当初, 彼らの容疑は, 空軍施設の無断撮影であり, これが認定されれば, 公安法違反に留まらず, 重大な事態となる危険性があった。韓国大使館は, おそらくこれを危惧したからであろうが, 迅速な手を打ったようだ。その結果, 5 人は, パシュパテ寺院聖域の無許可撮影の罪だけを認定され, 罰金の支払いで釈放された。

今回は大事に至ることなく決着してよかったが, ネパールの軍施設は人民戦争により急増しており, また中印関係も緊張してきた。ネパールは, 観光客にとっても, いまやかなり危険な国だといわざるをえない。

* Himalayan, 21 Mar; Yonhap News, 20 Mar; 新華社, 3 月 20 日



谷川昌幸(C)

軍施設撮影で韓国人逮捕

カトマンズの軍施設撮影容疑で, 3 月 18 日, 韓国人 4 人が逮捕された。

逮捕されたのは韓国放送局のスタッフ 4 人とネパール人ガイド 1 人。パシュパティ寺院を無人ヘリで空撮していた。この寺院はトリブバン国際空港の西隣にあり, 空港内空軍施設に近接している。そのため, 空撮に軍施設が写ってしまったらしい。

最近, ネパールは善良な観光客にとって, ますます危険な国になってきた。[カトマンズのど真ん中, アメリカンクラブ付近のことについては, 何度か報告した。](#) 今度は, 空港やパシュパティ寺院だ。

それにしても, この情報化時代, このような秘密主義はアナクロではないか。たとえば, グーグルでも, トリブバン空港内軍施設はよく見える。隠しようもない。それでも隠そうとするのが, 軍の抜きがたい習性。軍事機密, 防衛秘密, 特定秘密などの恐ろしさは, そこにある。

これからネパールに行く人には、カメラにくれぐれもご用心いただきたい。最近のカメラは高性能だ。私の初心者用ズーム(55~250mm)付カメラでも、スワヤンブーあたりから市内の軍関係施設を撮ることは十分に可能だ。一つ上の 400~800mm レンズをつけ、市内の高台かビル上層階に行けば、どの軍施設であれ、丸見えだろう。

ネパールに行って無邪気にバシャバシャ写真を撮っていると、いつしよっ引かれるか分からない。たまたま軍施設が写っただけのものなら、面倒なことになる。桑原くわばら。



■パシュパティ寺院 (P)とトリブバン空港 (TIA)／空港内軍施設付近 (Google)

谷川昌幸(C)

2014/03/22 at 00:15 カテゴリー: [軍事](#) タグ: [スパイ](#), [特定秘密](#), [防衛秘密](#), [軍事機密](#)

ガソリン値上げ， 1リットル 140 ルピー

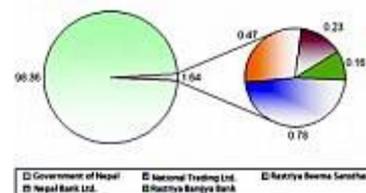
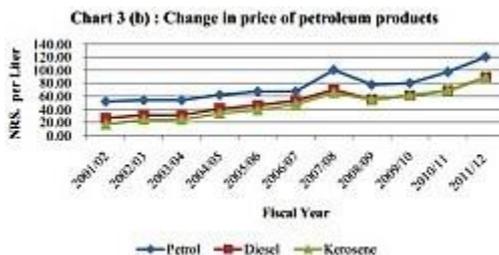
牛乳に続き， ガソリンも値上げされた。ネパール石油公社 (NOC)によれば， 以下の通り。

▼カトマンズ価格

- ・ガソリン： 130 ルピー → 140 ルピー/L
- ・ディーゼル・灯油： 103 ルピー → 109 ルピー/L
- ・LP ガス： 1470 ルピー/ボンベ(価格据え置き)

▼日本の価格

- ・ガソリン： 148~160 円/L
- ・ディーゼル： 132~148 円/L
- ・灯油： 98~110 円/L



■石油類価格推移(Economic Survey 2011/12)／NOC ロゴ／NOC 出資比率 (政府 98%)

先にも述べたように、ガソリンや灯油の価格は、日本とほぼ同等。それでも、NOCは、価格補填のため、1億7千万ルピー／月の赤字となっている。価格据え置き LP ガスは、ボンベ1本当たり860ルピーの赤字という。

こんなことは、いつまでも続かない。LP ガスは、家庭用と業務用のボンベを色分けし、業務用は市場価格とする方針のようだが、価格統制は複雑となりがちで、公正な運用は難しいのではないか。

この値上げに対しては、ANNISU-Uなど学生団体が、さっそく反対デモを始めたが、NOCの赤字は、結局、誰かが負担せざるをえないことは分かっているらしく、報道の限りでは、抗議の矛先は値上げそのものというよりは、むしろNOCの横流しなど腐敗に向けられているようだ。ネパールの学生も、自由市場主義の洗礼を受け、ずいぶん大人になったものだ。

(Republica, Ekantipur & Nepalnews, 14 Mar)

谷川昌幸(C)

2014/03/15 at 11:05 カテゴリー: [経済](#) タグ: [インフレ](#), [物価](#), [自由市場](#), [価格統制](#)

牛乳値上げ, 1リットル 68ルピー

ネパールで牛乳がまた値上げされる。市場占有率40%の国有企業「乳業開発公社 (Dairy Development Co.)」が発表した。1割以上の大幅値上げ(以下, 1リットル当たり価格)。

- ・非スキム牛乳: 60ルピー → 68ルピー
- ・スキム牛乳: 50ルピー → 56ルピー
- * 農家からの買い取り価格: 35~38ルピー (Republica, 12 Mar)

値上げ理由は、(1)生産・加工・流通の経費増大。(2)供給不足(ekantipur, 27 Jan)。

- ・牛乳需要: 80万トン/日
- ・国内生産: 60万トン/日
- ・輸 入: 6万トン/日 (インドより輸入, ネパール産より高価)

牛乳1リットル68ルピー(約70円)は、かなり高い。アメリカでは約100円。保護政策により割高の日本でも、ほんの数ヶ月前までは、140~200円であった。アベノミックス物価上昇により、現在は、180~270円。ネパールの68ルピーは、酪農国にしては、高いといわざるをえない。



これが深刻なのは、このインフレが今後も進行しそうなこと。牛乳需要は、世界的に、特に中国で増大しており、しかもグローバル化(世界市場化)により、それは直接ネパール国内市場にも影響を与える。ネパール国内での需要増もあって、牛乳価格の値上がりは避けられないだろう。

日本でも、生活必需品価格は、食糧を中心に急騰している。「狂乱物価」の前兆といっても過言ではない。私のような年金生活者や非正規労働者など、インフレ弱者は、お先真っ暗、生活を切り詰める以外に対策はない。

日本にしてそうだとするなら、ネパール、特に現金収入の少ない地方は、比較にならないほど深刻だ。自由市場社会化は、結局、世界中の相対的弱者から自由に搾取するための、強国の強者の巧妙な奸計といわざるをえない。

谷川昌幸(C)

2014/03/13 at 17:05 カテゴリー: [経済](#) タグ: [インフレ](#), [牛乳](#), [物価](#), [自由化](#), [市場](#), [格差](#)

京都の米軍基地(33) : ヤラセ環境影響調査と市長の無責任

防衛省が2月25日、Xバンドレーダー配備のための環境影響調査を開始した。電波(電磁波)、騒音、排水の3項目。

この調査は、いうまでもなくヤラセ。そもそもレーダーの出力が「特別防衛秘密」ないし「特定秘密」だから、防衛省調査員らには、それはおそらく知らされてはいないであろう。

肝心要のレーダー出力も分からないのに、どうやって環境への影響を調査するのか？あるいは、調査後、調査結果の根拠や妥当性を問われたとき、どのように説明するのか？ 全くもってナンセンス。バカらしくて、小学生ですら失笑するに違いない。

ところが、いったん「国益」のための「特別防衛秘密」や「特定秘密」が大前提とされると、そのような根拠なしの荒唐無稽な説明が、堂々とまかり通ることになってしまう。

調査など形だけでよい。数値はサイコロの出目でも記入しておけば十分。住民はすでに「国益」呪文、「特定秘密」呪文の暗示にかけてしまった。何を言っても疑いはしない。

この状態での環境影響調査など、もはやヤラセ。完全な”under-control”だ。もはや、何を言っても、地元住民は怒りはしない。たとえば、京丹後市の中山市長は、京都新聞の取材に——記事が正確だとするなら——こう答えている。

「住民の安全安心が守れない場合は、直ちに停波を求める。どうしても安全性の回復がなければ撤退を求めるところもありえる」(京都新聞2月26日)

誰が見ても、山陰の小さな地方自治体の市長に、そんなことをする力はない。相手は世界最強の米国。国際法違反の戦争だろうが暗殺だろうが、国益のため必要と判断したら、平然と冷酷に実行してしまう。その冷徹アメリカに、アジア辺境の小さな自治体の市長が、「**停波を求める**」、「**撤退を求める**」というのだ！！これは——記事が正確だとするなら——何の根拠もない無責任な空手形。リアリティのかけらもない。ウソだと思うなら、沖縄を見てみよ。

2014/03/10 at 22:35

カテゴリー: [軍事](#), [平和](#)

タグ: [特定秘密](#), [米軍基地](#), [Xバンドレーダー](#), [国益](#), [京丹後](#)

ネパールの職種別給与と経済成長率・インフレ率・預金金利

1. 経済成長率とインフレ率

アジア開発銀行によれば、今年のネパールの経済成長は 4.5%、インフレは 10%になるという(Republica, 7 Mar)。インフレの主要因は食糧。

2. 預金金利

一方、銀行の預金金利は以下の通り（定期、3月9日現在）

Nepal Bank

3か月=3.50%, 6か月=4.00%, 1年=5.00%, 1-5年=5.50%

Nepal SBI Bank

1-3か月=3.50%, 3-6か月=4.50%, 6か月-1年=5.50%, 1-2年=6.00%, 2-3年=6.25%, 3-10年=6.25%

Himalayan Bank

3か月=3.00%, 6か月=3.75%, 1年=4.50%, 2年以上=5.50%

3. 職種別給与（1ルピー=1.06円/3月9日）

▼公務員以外の職種=給与(ルピー/月, 2014年3月9日現在)

Food / Hospitality / Tourism / Catering=8,000

Construction / Building / Installation=12,000

Banking=18,333

Legal=19,424

Human Resources=20,000

Administration / Reception / Secretarial=21,583

Customer Service and Call Center=25,000

Marketing=30,000

Engineering=33,333

Electrical and Electronics Trades=34,800R

Information Technology=35,933

Sales Retail and Wholesale=37,833

Accounting and Finance=39,688

Executive and Management=44,050

Architecture=50,000

Health and Medical=50,000

(<http://www.salaryexplorer.com/salary-survey.php?loctype=1&loc=151>)

▼公務員職種=給与(ルピー/月, 2013/14 年度)

President= 109,410

Vice President=78,560

Prime Minister=56,200

Chief Justice=53,580

Speaker of the House=48,950

Deputy prime minister=47,410

Supreme Court justice=44,330

Minister=44,330

Deputy Speaker=44,330

Chief of opposition=44,330

Chief Whips=44,330

State Minister=42,010

Head of Constitutional body=42,010

NPC Vice-chairman=42,010

Assistant Minister=41,080

Parliamentarian=40,160

Chief Secretary=39,700

Secretary=37,390

Joint Secretary=31,730

Under Secretary=27,610

Section Officer=24,900

Peon (first)=12,120

Chief of Army Staff=39,700

Lieutenant General=38,540

Major General=37,390

Brigadier General=33,259

Colonel=31,040

Lieutenant Colonel=28,535

Boys=8,370

IGP(Nepal Police)=37,390

AIG=37,390

DIG=32,340

SSP=30,580

SP=28,535

Recruit=11,800

IGP(APF)=37,390

AIG=37,390
DIG=32,340
SSP=30,580
SP=28,535
Recruit=11,800
Secondary I(Teachers)=31,730
Secondary teachers II=27,610
Secondary teachers III=24,900
L Secondary I=25,890
L Secondary II =24,900
L Secondary III=19,370
Primary I=24,900
Primary II=19,370
Primary III=17,980
Primary IV=15,030
Primary V=14,020

(注)公務員総数：約 37 万人 [国軍 95,000；武装警察 31,000；警察 67,000；教員 88,000；上記以外の公務員 89,000] (ekantipur, 2013-08-03)

▼生活費（カトマンズとその近郊：単位ルピー）

石油類（3月9日現在、<http://www.nepalioil.com.np/Selling-Price/13/>）：

ガソリン 125/L；ディーゼル 100/L；灯油 100/L；プロパンガス・ボンベ 1本 1470

コメ：68/Kg

ミルク：51/L

タマゴ：111/12個

リンゴ：140/Kg

トマト：44/Kg

アパート（寝室1）：市内 8527/月，市外 4175/月

(http://www.numbeo.com/cost-of-living/country_result.jsp?country=Nepal)

4. 悪性インフレと共産党の責務

以上の経済指標を見ると、名目所得はかなり上昇しているが、高インフレで食糧を中心に物価上昇が続き、庶民の生活は苦しくなってきたと思われる。

ネパールは、最近ではカトマンズとその周辺にしか行っていないが、すでにガソリンやホテル代は日本と同等以上、私学授業料、本代など教育費も急上昇している。食糧など生活必需品が値上がりしており、大多数の庶民にとっては低成長と高インフレの最悪シナリオだ。

これは、ネパール共産主義にとっては、真価が問われる事態だ。このところネパールの共産主義諸党は、目の前の「民族」感情利用に走り、人民分断に加担してきた。が、このような戦略では先がない。

ネパールの共産主義は、国内の力関係という点で評価すれば、議会制民主主義国のなかでは世界最強といっても過言ではない。いまこそ原点に立ち戻り、「万国の」とはいわないまでも、少なくとも「ネパールの労働者・農民よ、団結せよ！」と檄を飛ばすべきではないだろうか。



■カトマンズ：2013年11月

谷川昌幸(C)

2014/03/09 at 14:31 カテゴリー: [経済](#) タグ: [インフレ](#), [物価](#), [金利](#), [階級](#), [賃金](#), [共産主義](#), [民族](#)

青蔵鉄道：シガツェ10月開通，ネパール延伸へ

1. 新華社の報道

中国は青蔵鉄道の建設を進め、2006年7月、上海-ラサ間（1956km）を開通させた。さらにラサから先、シガツェまでの延伸が、この10月までに完成し、営業を開始するという(新華社3月6日)。

ラサ-シガツェ間は253km、高所で難工事であったはずなのに、2010年着工からわずか4年で完成、中国の強い意思と、圧倒的な底力を見せつけた。ラサ-シガツェ間の列車は120km/hで運行され、2時間で着く。

シガツェは、パンチェン・ラマが住むタシルンポ寺があり、チベット仏教の聖地の一つ。そこに青蔵鉄道が乗り入れる。新華社記事によれば、タシルンポ寺のあるラマ僧はこう語っている。「信心深いチベット人すべての願いは、ラサとシガツェの仏様に礼拝することだ。この鉄道は、その巡礼の旅を安全で快適なものにしてくれる。」

中国は、すでにラサ博物館に次ぐ規模の「シガツェ博物館」を開館（2010年6月）し、また「シガツェ平和空港」も開港（2010年10月）している。さらにそれらに加え、青蔵鉄道が10月までに完成する。新華社記事は、チベットの発展に寄与するとして、それらを高く評価している。



■A=ラサ，B=シガツェ，C=カトマンズ(Google)



■上海-チベット鉄道／タシルンポ寺(中国チベット鉄道旅行 HP)

2. インド・メディアの報道

この青蔵鉄道延伸は、インドでも主要メディアが大きく報道した。むろん、新華社とは対照的に、中国進出への警戒が記事の基調となっている。

「中国は、シッキムのインド国境近くのシガツェまでチベット鉄道路線を延伸したが、これは、兵員と武器を遠隔ヒマラヤ地域で容易に移動させる戦略的能力を、中国軍に与えることになるであろう。」(The Times of India, 6 Mar)

「中国新華社ニュースは、上海-チベット鉄道がチベット・シガツェのパンチェン・ラマの本拠に達することを、その政治的意義を力説しつつ、報道した。」(The Times of India, 6 Mar)

「中国は、チベットで交通インフラの拡充を進めてきたが、これは、中国軍の国境への移動を容易とし、北京を戦略的に有利にするものではないかという懸念が、インドでは高まっている。」(The Times of India, 6 Mar)

「鉄道延伸発表は、中国政府支援の第11代パンチェン・ラマたるギェンツェン・ノルブが全人代開会式に出席しているとき、行われた。……ノルブの選出には疑義が出された。……ダライ・ラマが承認し選出された[先代の]ゲンドゥン・チューキ・ニマは、選出後、行方不明となった。中国政府が拘束しているとみられている。」(The Hindu, 6 Mar)

「中国は、鉄道をシガツェからネパール国境まで延伸する予定。さらに中国側は、建設費を援助し鉄道をネパール国内にまで延伸しようと考えているが、これまでのところ、カトマンズ[ネパール政府]は、インドに配慮し、中国提案には慎重な態度をとっている。」(The Hindu, 6 Mar)

このようにインド側は中国の鉄路南下を警戒しているのだが、しかし、インド側はインド側で鉄道を南方からネパール国内に着々と伸ばしている。インドからすれば、それとこれは話が別らしい。というのも、インドはネパールを勢力圏内と考えており、そこへの中国の進出は侵出であり、インドの脅威に他ならないと感じているからである。

▼[中国は軍事援助、インドは鉄道建設](#)

▼[青蔵鉄道のルンビニ延伸計画](#)

3. ヤムイモは生き残れるか

ネパールは、建国以来、「二巨石間のヤムイモ(Yam between Two Boulders)」と呼ばれてきた。印中二大国に挟まれ、それを宿命として引き受け、生存を図らざるをえない。

一方におけるグローバル化と他方における中国超大国化。この地政学的激変の中、ネパールは二つの巨石に押しつぶされ、磨り潰されて吸収されてしまうことなく、一つの独立国家として生き残ることが出来るのであろうか？

谷川昌幸(C)

2014/03/07 at 17:58 カテゴリー: [インド](#), [経済](#), [軍事](#), [外交](#), [中国](#) タグ: [シガツェ](#), [チベット](#), [パンチェン・ラマ](#), [ラサ](#), [青蔵鉄道](#), [Yam](#), [地政学](#)

米のネパール援助削減と中国の援助戦略

アメリカ国務省発表によれば、米国の対ネパール予算は2015年度も削減される(Himalayan, 5 Mar)。

- 2012年度: 87.749 百万ドル
- 2013年度: 87.079
- 2014年度: 79.700
- 2015年度: 76.630

■援助発表(米大使館 HP)

対照的に、中国は、はっきりした数字は分からないが、ネパール向け援助や投資を拡大している。

- ▼[中国は軍事援助、インドは鉄道建設](#)
- ▼[中ネ軍事協力、さらに強化](#)
- ▼[印中の対ネ軍事援助合戦](#)

たとえば、2013年6月署名の協定によれば、中国は次のような援助を行う(Zeenews, 25 Jun. 2013)。

- (1)武装警察(準軍隊)学校建設: 36 億ルピー
- (2)カトマンズ環状道路改良: 40 億ルピー
- (3)制憲議会選挙(選挙管理委員会)支援: 1 億 5 千万ルピー

なかなかバランスのとれた目の付け所のよい援助だ。

このような中国のネパール進出は、ネパールの地政学的位置を変えつつある。サランシュ・シーガルは、中国の対ネパール政策の戦略性に注目する。[\(Saransh Sehgal, "China Expands into Himalayan Neighbor Nepal," *Defense Review Asia*, Dec '13-Jan '14, 2013\)](#)

彼によれば、中国の対ネ直接投資は2007~2011年で倍増した。中国の関心は幅広く、軍事援助、道路建設、通信網整備、インフラ建設、食糧援助、水力発電などから文化の分野にまで及んでいる。孔子学院は各地に開設され、中国語授業はすでに70校以上で開始された。ルンビニ総合開発も計画されている。



そうした援助の中でも彼が特に注目するのが、チベット・ネパール間の道路と鉄道の建設。これらが開通すれば、ネパールの地政学的位置は激変するという。

中国の急速な超大国化とともに、アジアのパワーバランスは、特に周辺地域で大きく変化しつつある。この変化への対応は、日本にとっても難しいが、それ以上にネパールにとっては難しい課題となるであろう。

谷川昌幸(C)

2014/03/06 at 20:00 カテゴリー: [インド](#), [経済](#), [軍事](#), [外交](#), [中国](#) タグ: [チベット](#), [ルンビニ開発](#), [地政学](#), [孔子学院](#), [援助](#)

制憲議会選挙 2013 (38) : 先住民族協会, 障害者協会等の議席要求

制憲議会の内閣指名議席がまだ決まらない。そうした中、選挙で十分な議席をえられなかった諸集団が、議席割当要求闘争を強化している。

1. NEFIN

最も強硬に議席割当要求をしている集団が、「ネパール先住民族協会(NEFIN: Mepal Federation of Indigenous Nationalities)」。56 民族団体が加盟している大きな協会であり、先の制憲議会では 218 議席、今回選挙でもすでに 183 議席を獲得している。

NEFIN は、いまや弱小社会集団とは言いがたいが、それでも指名 26 議席のうちの 15 議席を要求している。理由は、小選挙区制と比例制のいずれでも議席をえられなかった民族は、憲法制定に参加できず、包摂参加原理に反する、というもの(ナゲンドラ・クマール NEFIN 議長(会長) ; ekantipur,12 Feb)。

たしかに、包摂参加を議員選出基準とするなら、クマール議長のいうとおりだ。しかし、もしそうなら、最初からクォータ制(quota s.)ないし留保制(reserved seat s.)で議席を社会諸集団に割り当てておく方が公平だ。有力者との政治取引で議席を配分するのは、不透明であり、民主主義の理念に反する。

■世界先住民の日 : NEFIN

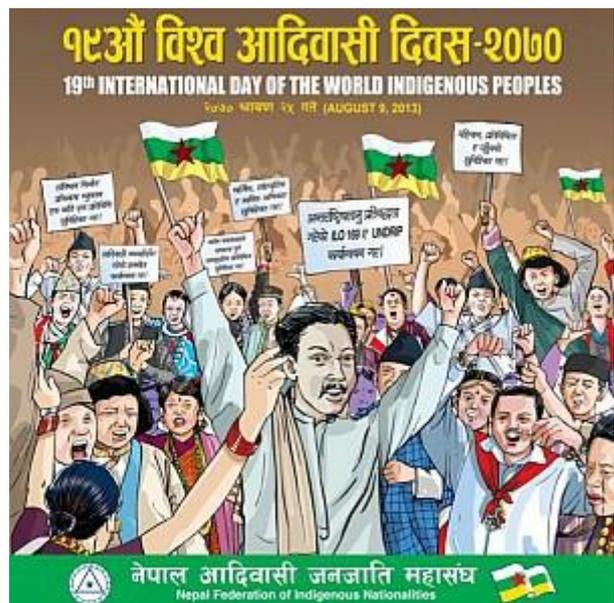
2. NFDN

NEFIN より小規模な団体は、議席獲得のため、多かれ少なかれ強硬手段をとらざるをえない。たとえば、

「ネパール障害者協会(NFDN: National Federation of the Disabled-Nepal)」。

ネパールの障害者は、政府発表では総人口の約 2%だが、NFDN は、実際には 15%はいると主張している。そして、内閣指名 26 議席のうち 4 議席(男 2, 女 2)を障害者集団に割り当てよ、と要求している。(第 1 次制憲議会の障害者議員は 3 名。)

NFDN は、この議席要求を認めさせるため、2月5日



から「決死ハンスト(hunger strike unto death)」を決行、その圧力により2月15日、政府を交渉の場に引き出し、合意文書に署名させた。

(1)政府は諸党と協議し、障害者指名議席実現のため最大限の努力をする。

(2)決死ハンストは本日で中止する。

[署名] NFDN 議長：S・スベディ／首相府事務局長：SP・シルワル

(ekantipur, 12 Feb; DPI-AP, "Written consensus between National Federation of the Disabled Nepal and Nepal Government")

NFDN が自分たちの代表を制憲議会に送りたいと考えるのは当然だし、それは正当な要求でもある。しかし、それを認めた上で、やはり「決死ハンスト」圧力によらざるをえないのは、手続的に民主的とは到底いいがたい。包摂参加原理をとるなら、クォータ議席か留保議席をあらかじめ配分しておくべきだろう。



National Federation of the Disabled Nepal
राष्ट्रिय अपाङ्ग महासंघ नेपाल



■NFDN

3. 包摂参加の難しさ

しかし、そのような制度的工夫をしても、包摂参加民主主義には、やはり難しさが残る。それは、社会集団のアイデンティティには不明確さや流動性、あるいは「人為性」ですら、つねにつきまとうからである。自集団のアイデンティティを人為的に強化すればするほど、代表比率を高め、政治的に有利となる。

もしそうなら、包摂参加民主主義は、圧力団体政治と何ら変わらないどころか、むしろ社会諸集団がそれぞれ固有の“本質的先天性”を正当性の根拠とする誘惑につねに駆られるだけに、かえって危険だといわざるをえないであろう。

谷川昌幸(C)

2014/03/05 at 20:49 カテゴリー: [選挙](#), [民族](#), [民主主義](#) タグ: [クォータ制](#), [留保制](#), [NEFIN](#), [NFDN](#), [制憲議会](#)

韓国，ネパール人労働者 5700 人受け入れ

韓国政府は、2014年度ネパール人労働者受け入れを、5700人と発表した。TOPIK(韓国語能力試験)合格者9700人の中から選抜される。

韓国のEPS(労働許可制度)による2014年度受け入れ外国人労働者は、15カ国5万3千人。ネパールからの受け入れは、カンボジア、インドネシア、タイの次で、第4位。ネパール人労働者は、韓国でも、評価が高いという(ekantipur, 2 Mar)。

▼韓国 EPS

- ・労働期間：5年
- ・最低賃金：韓国人労働者と同じ(月108万ウォン、2014年)
- ・受験資格：40歳以下

- ・ TOPIK : 受験料 24 ドル。受験者 5 万 1 千人(2011 年), 合格者 8051 人(2013 年)
- ・ 2013 年度ネパール人労働者受け入れ : 8200 人 (製造業 4600 人, 農業・畜産業 3600 人)

外国人労働については, 韓国は日本よりもはるかに先進的だ。EPS は, 外国人労働者雇用方法を明確に規定し, さらに最低賃金法, 産業安全保健法など労働関係諸法の適用において外国人労働者と韓国人労働者との平等を定めている (EPS ホームページ)。カトマンズにも EPS センターがあり, 定期的に TOPIK などを実施している。ネパールは, EPS の優等生として高く評価されている。

しかし, それでも, 韓国での生活はきついらしく, ネパール人労働者の死者は 57 人 (2007-2013 年) にのぼり, 多くは自殺と突然死だという。

また, 最低賃金は同じとはいえ, ネパール人をはじめ外国人労働者が韓国人の雇用を奪っていることも否定はできまい。韓国の失業率, とくに青年層のそれはかなり高い。

▼韓国の失業率

- ・ 15-29 歳 : 8.7%(2014.01)
- ・ 15-24 歳 : 10.2%(2005), 9.6%(2011),

7.5%(2013.11)

■韓国の失業率 (DBJ レポート 2013 年 6 月)

韓国在住ネパール人は, 20470 人 (2013 年 11 月)。すでにかなりの数だ。日本以上に少子高齢化の進む韓国。今後韓国におけるネパール人社会がどうなるか, 注目される。

(図表11) 韓国の年齢別失業率



谷川昌幸(C)